



校長室だより

2023 Next Stage

令和5年12月21日
白山市立美川小学校
白山市美川和波町7229
TEL 278-2063



子どもの成長の支えとなる『安全基地』

校長 清水由美子

2学期もあと1日となりました。スタートしたのはまだまだ厳しい暑さが残る8月でしたが、いよいよ雪の季節になりました。例年のように、学校のプールにはたくさんの鴨が飛来しています。

8月末の始業式で子どもたちには、2学期が一番長く、たくさんの成長のチャンスがあるという話をしました。日々の学校生活、運動会や持久走などの学校行事では、仲間と学び合い協力する姿、自分の目標に向かってあきらめず取り組む姿、友達や下級生など相手を思いやる姿などが見られ、一人ひとりの成長を感じています。学校の教育活動へのご理解、ご協力ありがとうございました。

さて、子どもたちのやる気や自律心を育むためには『安全基地』が必要であるといわれています。『安全基地』とはアメリカの心理学者が40年ほど前に提唱したもので、**不安や恐れをいつでも受けとめ安心させてくれる居場所、存在のこと**です。乳幼児期のことをいう場合もありますが、乳幼児期から子ども期全体を通して、親（又は養育者）が『安全基地』であることが大事だという発達心理学の先生もいます。子どもが親（養育者）を心の『安全基地』と感じることができていると、いつでも帰ることができる『心の拠り所』として、未体験のことにチャレンジしたり、活動の範囲を広げたりすることができます。たとえ失敗をしても、うまくいかなくても、「安全基地に帰れば大丈夫！」と思える安心感や心強さがあることは成長の大きな支えとなってくれるのです。



『安全基地』で大切なことは2つあります。

*子どもが元気な時は⇒⇒自分の意思で行動する様子を少し離れたところから見守り応援する

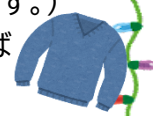
*子どもが不安を感じている時は⇒⇒子どもの心にしっかりと寄り添い、心の燃料補給をする

まずは親や家庭が『安全基地』であること、そして学校も子どもたちの安心できる場所であるよう努めていきたいと思えます。現代では、大人にも『安全基地』は必要だと言われているそうです。保護者の皆さんにも『安全基地』はありますか。（参考：「お子さんの安全基地になっ

Q&A 校長室からお答えします

Vol.105 Q 蓄熱暖房を使えないのであれば服装の基準をゆるめてもらえませんか。

A 各学年だよりでお知らせしたとおり、制服の下に防寒用のベスト、セーター、カーディガン等は着用してかまいません。（制服からはみ出さないをお願いします。）暑い時は脱ぐなど自分で調節できるようにお願いします。また、ズボンやスカートの下にスパッツやタイツをはくことも認めています。（体育時は滑る危険があるのでタイツはぬぐことになっています。）体調がすぐれない時など担任に申し出ればジャンパーなど防寒具の着用もできます。



Vol.106 Q 自転車の乗り方がとても危険です。ヘルメットをかぶっていない子や無灯火も見かけます。

A 保護者や地域の方が心配されて学校に何度か連絡がありました。学校では繰り返し指導しています。特に冬場は暗くなるのが早いので、夕方自転車に乗る時は、ライトを必ずつけさせてください。また、自転車事故の致命傷の第1位は頭部の損傷というデータや、ヘルメットをかぶっていたことで大事に至らなかったというケースが多々あるそうです。ご家庭でも自転車の安全な乗り方について、確認をお願いします。